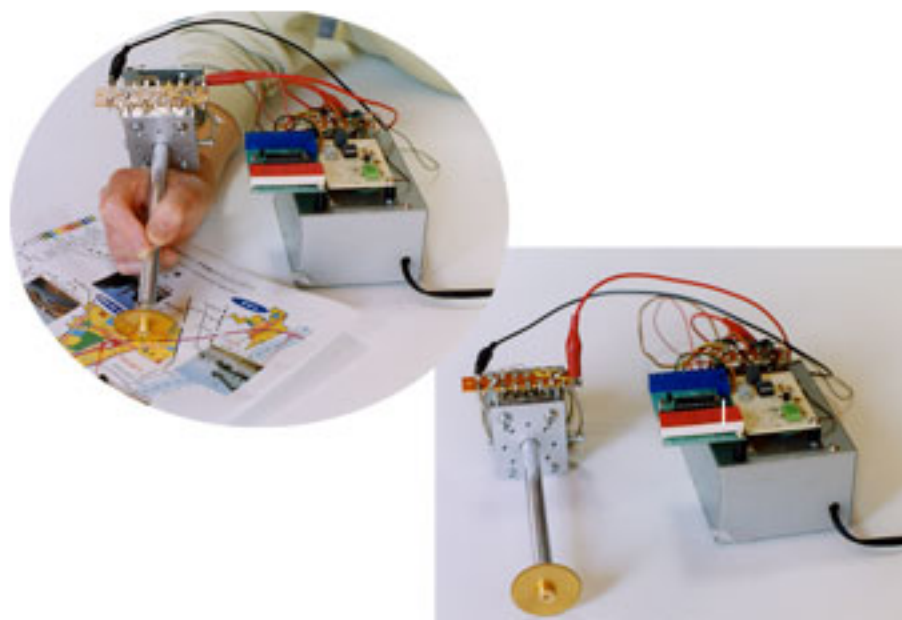


各種計測器・センサーに応用できる発電型周波数可変発信器

〔技術・製品の概要と特徴〕

N極S極を合わせた2つの磁石の上に置かれた銅球は推力を加えると左右に揺れ、これにより磁場がコイルを伝わり電流が発生するが、この原理を応用した発信器。連続的外部推力エネルギーとして変速モーターを利用することで電位に強弱をつけ周波数が可変する仕組みとなっている。0~400Hzまでの安定した周波数可変発信ができ、低周波領域において周波数を連続可変できるため計測器・センサー等応用範囲が広い。



(長さ測定器への応用例)

〔用途〕

- (1) 振動検出器、位置検出器、手動カウンタ、周波数発信器
- (2) その他各種計測の応用

〔希望する技術移転の(1)形態・(2)相手先・(3)地域〕

- (1) 特許実施権供与
- (2) 企業規模不問
- (3) 国内・海外を問わず

〔開発段階〕

試作・実験(完了) 製造・販売実績(無)
関連特許(有)

〔提供可能資料など〕

パンフレット、特許公報